

頁	行	誤	正
8	式(1.16)の 2行下	ともよばれるが、現在は定義値である（16頁参照）.	ともよばれる.  ※2019年5月のSI基本単位の再定義による
9	式(1.19)の 5行下	$\mu_0$ はA（アンペア）の定義から決まる定義値で $\mu_0 = 4\pi \times 10^{-7} \text{ H m}^{-1}$ ( $\text{H m}^{-1} = \text{N A}^{-2} = \text{Wb A}^{-1} \text{ m}^{-1}$ ) である.	$\mu_0$ は以前はA（アンペア）の定義から決まる定義値 ( $4\pi \times 10^{-7} \text{ H m}^{-1}$ )であったが、現在は誤差を含む 物理量である. $\mu_0 = 12.566 \times 10^{-7} \text{ H m}^{-1}$ ( $\text{H m}^{-1} = \text{N A}^{-2} = \text{Wb A}^{-1} \text{ m}^{-1}$ )  ※2019年5月のSI基本単位の再定義による
9	例題 1.4 終盤	上式を $r$ から $\infty$ までの範囲で積分すると次式が得られる. $V = -\int_r^\infty F dx = -\int_r^\infty \frac{kq_1q_2}{x^2} dx = \frac{kq_1q_2}{r^2}$	上式を $\infty$ （基準値 $V=0$ ）から $r$ までの範囲で積分すると次式が得られる. $V = -\int_\infty^r F dx = -\int_\infty^r \frac{kq_1q_2}{x^2} dx = \frac{kq_1q_2}{r}$
10	コラム 2つ目の式の 2行下	デバイ（P. J. W. Debye, 1884～1966 : 1936 物）	デバイ（P. J. W. Debye, 1884～1966 : 1936 化）
16	式(1.24)の 次の行	定義値である $\mu_0$ との間に式(1.23)の関係が成立するため、 $\epsilon_0$ も定義値となった.	削除  ※2019年5月のSI基本単位の再定義による
21	7行目	電子の質量 $m_e$ も決められた. $e = 1.602 \times 10^{-19} \text{ C}, \quad m_e = 9.109 \times 10^{-31} \text{ kg}$	電子の質量 $m_e$ も決められた. 現在 $e$ は定義値で、A（アンペア）の定義に関連する. $e = 1.602176634 \times 10^{-19} \text{ C}, \quad m_e = 9.109 \times 10^{-31} \text{ kg}$  ※2019年5月のSI基本単位の再定義による
28	式(2.3)	..., $h = 6.626 \times 10^{-34} \text{ J s}$	..., $h = 6.62607015 \times 10^{-34} \text{ J s}$
28	式(2.3)の 1～2行下	量子力学の基本量である.	量子力学の基本量である. 現在では定義値で、質量の単位 (kg) の定義に関連する.  ※2019年5月のSI基本単位の再定義による
39	例題 2.6 式(2)	$r = \frac{\epsilon_0 h^2}{m_e e^2} n^2$	$r = \frac{\epsilon_0 h^2}{\pi m_e e^2} n^2$
89	下から 4行目	$T, R$ には hyperbolic 関数が含まれているため	$T, R$ には正弦 (sin) 関数が現れるため [参考] $T = \frac{1}{1 + \frac{V^2 \sin^2(k_1 L)}{4E(E-V)}}, \quad R = \frac{1}{1 + \frac{4E(E-V)}{V^2 \sin^2(k_1 L)}}$

112	10 行目		
131	6.2.3 項 1 行目	方位角 $\theta$	天頂角 $\theta$
155	1 行目	励起状態 $1s^2 2s^2 2p^6 3s^1 3p^1$	励起状態 $1s^2 2s^2 2p^6 3s^0 3p^1$
179	図中 (2 箇所)	$\sqrt{\left(\frac{\alpha_A - \alpha_B}{2}\right)^2 + \beta^2}$	$\sqrt{\left(\frac{\alpha_A - \alpha_B}{2}\right)^2 + \beta^2}$
208	式(10.3)の 3 行下	$k = 1.3806 \times 10^{-23} \text{ J K}^{-1}$ と決定され、ボルツマン定数と名づけられた。	$k = 1.380649 \times 10^{-23} \text{ J K}^{-1}$ と決定され、ボルツマン定数と名づけられた。現在 では定義値で、温度 (K) の定義に関連する。  ※2019 年 5 月の SI 基本単位の再定義による
231	式(11.5)	$c = \nu\lambda$	$c = \nu\lambda$  ※「ブイ」ではなく「ニュー」です
241	図 11.7(a)	(a) 	(a) 

※一番右の炭素に波動関数が抜けています